薬剤関連基礎データ		平成28年度	
入院処方せん枚数		169,219 枚	Ź
为 立 加 十 上) 	院内	27,977 枚	Ţ.
外来処方せん枚数	院外	132,764 枚	Ź
院外処方せん発行率	•	82.6 %	6
注射処方せん枚数	入院	153,216 枚	Ź
	外来	28,732 枚	Ź
病棟薬剤業務実施加算 1	実患者数	10,175 人	
	実施件数	18,101 件	‡:
	算定件数(週1回 100点)	3,527 件	‡
病棟薬剤業務実施加算 2	実患者数	11,102 人	
	実施件数	33,320 件	‡
	算定件数(1日につき80点)	9,081 件	‡
薬剤管理指導1 ※改定前の「1 救命救急入院料等を算定 患者に対して行う場合」	実患者数	0 人	
	実施件数	0 件	
	算定件数(430点)	0 件	
薬剤管理指導1 ※特に安全管理が必要な医薬品が投与又 は注射されている患者に対して行う場合	実患者数	0 人	
	実施件数	0 件	
	算定件数 (380点)	0 件	
薬剤管理指導2 ※薬剤管理指導料1の患者以外の患者に 対して行う場合	実患者数	0 人	
	実施件数	0 件	
	算定件数 (325点) 実患者数	0 件	
麻薬管理指導加算	算定件数(50点)	0 人	
	実患者数	0 人	
退院時薬剤情報 管理指導	算定件数 (90点)	0 件	
薬剤情報提供料(10点)	PER I MA (COMO)	17 件	
麻薬管理指導	実患者数	0 人	
	加算件数(50点)	0 件	‡
調剤技術基本料1	(病院に入院中の患者に投薬を行った場合 42点)	8,809 件	‡
調剤技術基本料2	(その他の患者に投薬を行った場合 8点)	6,876 件	‡
院内製剤加算	(調剤を院内製剤の上行った場合は、所定の点数に10点加算する)	0 件	‡
調剤料1	イ 内服薬、浸煎薬および頓服薬 9点	9,869 件	‡
ו וינידענייאן ביינידענייאן ביינידענייאן ביינידענייאן ביינידענייאן	口 外用薬 6点	3,677 件	‡
調剤料2	入院中の患者に対し投薬を行った場合 7点	161,178 件	
外来化学療法 ※外来化学療法加算の施設基準を届出し ている場合	外来化学療法加算 1 A (820点)件数(15歳未満の患者の場合)	3 件	
	外来化学療法加算 1 A (600点)件数	3,296 件	
	外来化学療法加算 1 B (670点) 件数 (15歳未満の患者の場合)	9 件	
	外来化学療法加算1B(450点)件数	997 件	
	外来化学療法加算 2 A (740点)件数 (15歳未満の患者の場合)	0 件	
	外来化学療法加算 2 A (470点)件数	0 件	
	外来化学療法加算2B(640点)件数(15歳未満の患者の場合) 外来化学療法加算2B(370点)件数	0 件	
	混合実件数	6,435 件	
	無菌製剤処理料1イ	150 件	
	(閉鎖式接続器具を使用した場合180点)件数	150 14	+
	無菌製剤処理科 1 ロ (イ以外の場合45点)件数	3,312 件	‡
外来 抗悪性腫瘍剤 ※外来化学療法加算の施設基準を届出し ていない場合	混合実件数	件	ŧ
	無菌製剤処理料1イ (閉鎖式接続器具を使用した場合180点)件数	件	‡
	無菌製剤処理料1口		t:
入院 抗悪性腫瘍剤	(イ以外の場合45点)件数 混合実件数	5, 195 件	
	低音夫什数 無菌製剤処理料1イ		
	(閉鎖式接続器具を使用した場合180点)件数 無菌製剤処理料1ロ	429 件	
	(イ以外の場合45点)件数	2,243 件	
入院・外来 中心静脈栄養剤	混合実件数	386 件	
入院・外来	無菌製剤処理料2(40点)算定件数	791 件	
抗悪性腫瘍剤以外、	混合実件数 無菌製剤処理料 2 (40点) 件数	1,020 件	
中心静脈栄養剤以外 緩和ケア診療加算	無 国 聚 利 処 理 科 2 (40 点) 什 級	345 件	
核和クノ診療加昇 特定薬剤治療管理料	算定件数(400点) 算定件数	2,494 件	
	請求金額	11, 593, 350 円	
L		. , 14	